

サービスの概説 **Japanese Translation**

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会

## 理念

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会の理念は、以下の通りです。

知的障害および発達障害に該当なさる方々が、安全かつ健康的に その方々の能力に応じて日常生活を送り、仕事や学習をし、社会生活に参加できること。

当委員会が、充実した管理体制の下で 安定した責任ある経営をする公共団体として、社会で尊敬されている熱意のあるスタッフを通して 障害者の家族と協力しながら質の高いサービスを 経営効率よく提供すること。

知的障害および発達障害について その原因や予防法も含めて、フランクリン郡の住民が理解し易い情報を提供すること。 さらに、フランクリン郡地域社会が 知的障害および発達障害に該当なさる方々を障害者として認めて 受け入れてくれること。

### フランクリン郡知的障害および発達障害委員会 サービスの概説

このパンフレットは2004年1月に改定されました。

当書に使われているアートワークは 芸術家の マーサ・パースケさん (Martha Perske) の許可をとって印刷されています。

## 概要

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会は、フランクリン郡にお住まいの知的障害および発達障害のある方を対象に、直接または外部の業務受託機関を通して、日常にわたって援助をする、フランクリン郡の機関を運営しています。

当書は、このようなサービスと該当者に適応する条件について、基本的な情報をお届けするために書かれています。詳しくは、〔614〕475-6440までお問い合わせください。

## 背景

1950年以前は、知的障害および発達障害のある子供さんや成人の方には、教育や職業訓練を受ける機会はほとんどありませんでした。公立の学校や地域ビジネスには、障害者を受け入れる体制が整っていなかったからです。1950年代初期に、障害者の生活改善を叫ぶアメリカ国内中の強い動きとともに、フランクリン郡では知的障害のお子様をもたれている父兄が数人が力をあわせて、「フランクリン郡知的障害議会」が成立しました。これが、数多くの方々にとっては、施設に隔離されることなく援助を受けられるための希望の第一歩となりました。

この議会は、学校および成人向けのプログラムや療法を企画して、「知的障害患者のためのフランクリン郡企画」を創立しました。これらは、寄付金、授業料、さらに少なからずもあった公共資金を基盤にして運営されました。1960年代には社会変化を通して、公共の資金が徐々に増えていきました。その時点で、「知的障害患者のためのフランクリン郡企画」が、「フランクリン郡子供福祉委員会」の管轄の一部になったわけです。

1967年に成立した上院169条によって、知的障害および発達障害者に対しての公共社会を基盤としたサービスが、さらに援助を受けられるようになりました。この法律によって「フランクリン郡知的障害委員会」が成立したわけです。さらに1980年に有功になった上院修正160条によって、この委員会は現在の「フランクリン郡知的障害および発達障害委員会」と改名されました。

## 委員会

当委員会は フランクリン郡長官または遺言検認裁判官によって選ばれた7人のメンバーで構成されています。法律により、7人のうち3人は、当委員会が提供するプログラムやサービスに該当する家族がいる方でなければなりません。全委員は、ボランティアとして 報酬をうけることなく活動しています。

## 補助金

プログラム運用のための資金は、地方、州、また連邦からの援助資金から成り立っています。

地方補助金は 主に地方徴税で成り立っていて、これが プログラム運用のための主な資金源です。

州の補助金は、主にオハイオ州知的障害および発達障害課と オハイオ州教育課からの払戻金です。

連邦政府からは、さまざまな助成金、全国学校給食企画、またメデイケードなどを補助金として受取っています。

## スタッフ

当委員会の熱意のある専門スタッフは、特別の訓練を受けている、各々幅広い職業分野を代表する人々です。当委員会のスタッフになるためには、オハイオ州知的障害および発達障害課によって規定されている基準規格を満たさなければなりません。各専門家は それぞれの専門分野での基準規格をすでに満たしています。

## 使命・任務

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会の使命は、サービスを受ける資格条件に該当する子供さんや成人の方が 生活を営み、働き、学習し、地域社会に参加できるように、プログラムやサービスを提供し、また障害者を持つ家族の方々に援助することです。

当委員会は、知的障害また発達障害者にも、一般の社会住民と同じ権利と義務があることを前提としています。この権利と義務とは、地域社会にサービスがあることを知る権利、サービスを使う権利、無理のない程度の危険を伴いつつ生活する権利、そして、他人の利益のために使われたり、虐待されたり、軽視されたりする経験から保護される権利、個人に対する尊厳と尊敬を持って扱われる権利、自分の生活にかかわる決断に参加する権利、また他人の権利を尊敬する義務などがあります。

## サービス概要

当委員会は 対象者の年齢を問わず、以下のようなサービスを提供しています。

幼児期教育、  
家庭を基盤にしたサービス、  
学校を通してのサービス、  
成人向けのサービス、  
生活支援サービス、  
家族資源支援サービス、  
さまざまなサービスを調整する手助け、

更に 特別な手助けのサービスもできます。これらのサービスのほとんどは、対象となる子供、成人、またその家族に対して 毎日のように提供されて、障害者が 生活し、学習し、地域社会に参加できるように設計されています。

## 幼児期教育

発達不全障害または知的障害を持つ 6 歳未満の子供を対象とするのが、幼児期教育サービスです。専門家と家族が一体となり、早期介入の家庭教育または幼稚園の環境のなかで、幼児の年齢と発育段階に適した経験を個人別に配慮したサービスを行います。それぞれの子供とその家族のために、個々の家庭にあったサービスプラン〔IFSP〕または、個人に合わせた教育プランが作られます。授業は 1 週間に 1 回から 5 回までの頻度で、午前中もしくは午後のどちらかに参加していただけます。更に学校の授業の成果を高める為に、家庭を基盤としたサービスが併用されることもあります。このようなプランには、子供の成長のために 次のような学習の機会が組み入れられています。

子供の創造力を高める機会、  
問題解決や問題対処力を伸ばす機会、  
体全体の筋肉を使った運動、  
指先を使った細かい運動機能を高める機会、  
社会経験を広める機会、  
コミュニケーションや遊ぶ能力を伸ばす機会、

更に自立性を高めて自信を養う機会を与える、などがあります。授業は一人一人の個人指導の設定から、同じ年齢の健常児と一緒に遊んで学べる設定まで、さまざまにあります。

## 家庭を基盤としたサービス

家庭を基盤としたサービスは、生後から 6 歳未満までの子供が対象になります。このサービスは、子供が 幼児教育を受けられるまでの準備段階として、または、学校の授業の補足や学校の授業の代わりとして使用されています。家庭基盤サービス専門員または早期介入専門員は、定期的に家庭を訪問して 障害児がより自立して活動できるように 特別な技術や活動のやり方を 両親に教えてくれます。また 専門員はサービス調整の手助けをしたり、家族に支援や擁護の助言もしてくれます。

## 生徒および児童へのサービス

さまざまな障害をわずらっている5歳から21歳までの子供には、学校を基盤とした種々のサービスがあります。当委員会は、フランクリン郡の全学区と共同してオハイオ州教育課のチャーター基準に従って学校を基盤としたサービスを提供しています。このサービスは、生徒および児童の自立性を養い地域社会により参加できることを目的として、学習、コミュニケーション、自分の身の回りの世話、社交性、家事、職業また娯楽などにわたって、個々に適合した技術を個人的に教えています。このようなサービスは、家庭内、地域社会内、職業面、更に娯楽またはレジャー面の4分野に構成されていて、重きは生徒と家族が常に接している地域社会を設定とした訓練におかれています。郡内の学区と協力して、夏のプログラム、職業に関するサービス、スタッフの養成教育、更にそれぞれの学区の施設内でおこなわれるサービスなどを提供しています。

## 成人向けのサービス

成人向けのサービスは、個人の自立性、自給自足力、生産性を養って、障害による支障を最小限にしてよりよい生活ができるように提供されています。このようなサービスは、年齢にかかわらず、若い方にもお年寄りの方にも使用できるように企画されています。

アーク〔ARC〕工業は、アメリカ連邦労務省から認められている非営利組織で、リハビリテーション施設資格認定委員会（CARF）からも認定されています。アーク工業は、発達障害者に職業訓練の機会とさらに従業員として雇用される就職の機会を提供しています。アーク工業は、保護された工場施設内で または地域社会の中で 障害者が従業員として仕事ができるように、さまざまな地域産業と契約しています。障害者たちは、地域社会の中で仕事を見つけ、自立して仕事を続けて生活できるようにも 援助を受けています。

成人の障害者が自立して生活ができるように、職業訓練の他に生活訓練サービスも提供されています。個々の必要に適するように評価を行い、言語療法、歩行訓練、心理療法またその他の面にかかわるサービスを提供します。プログラムマネージャーは、個人の家庭状況に適するように、障害者、家族、保護者と相談して、サービスプランを企画設計して サービスを提供します。知的障害や他の発達障害を患う老人の方にも、このようなサービスがあります。自分個人の成長ができ自尊心を高めることができるように、最小限度の制限範囲で自立した生活ができるように、職業面、社会面、また娯楽面でさまざまな機会が 毎日のように提供されています。

## サービス調整

サービス調整課は、該当者に適するサービスを判定し 複数のサービスがある場合には 該当者のためにサービスを調整して提供する課です。サービス調整専門員は、個人のサービスの必要度を評価し、適したサービスを選んで、該当者のために 援言したり、介入したり、また行き届いたサービスが施行されているかを見届けます。

更に、サービス調整課は、知的障害および他の発達障害者に関する“異常な重大事件”

(Major Unusual Incidents) についての情報を住民から受取る窓口でもあります。このような事件情報が入った場合は、サービス調整専門員が調査に参加し、今後このようなことが起こらないように障害者を見届けて、このような事件がまた起こったとしても、損傷が最小であるように配慮します。サービス調整課には、1日24時間を通しての呼び出し組織があり、緊急事態でも すぐに対応できるようになっています。

## 住宅援助

知的障害および他の発達障害者のための住宅援助は、当委員会が外部の事業と契約して提供しています。 障害者たちは、どこに住むか、誰と住むか、誰が生活支援をしてくれるかについて 自分から参加して決めることができます。住宅の種類としては、援助つき自立生活、共同生活介護施設、メデイケードが後援している施設、アパート、貸家などがあります。個人の必要に応じて、1日に4時間から24時間まで 生活援助が受けられます。

## 家族資源援助サービス

障害者を家で看護している家族のために、家族資源援助サービスが提供されています。このサービスの一例としては、短期間の施設滞在サービスがあります。これは、家族の代わりに 担当専門員が 障害者の家庭または短期滞在認定施設で 障害者の世話を提供するサービスです。短期滞在サービスは、一般的に、一回につき4時間から2週間ごとに提供できます。また、家族とのカウンセリング、父兄のトレーニング、車椅子用傾斜路などの 障害者用施設設備を整えるための資金援助もいたします。

## 特別なサービス

さまざまなプログラムに参加されている子供や成人の個々の必要に応じて、さらに特別なサービスが企画されています。身体障害、感覚障害、歩行行動または言語障害のある方のためには、療法士、看護師などさまざまな分野の専門家が特別なサービスを提供します。成人向けとして、毎晩や毎週週末には 娯楽のプログラムがあり、また子供や成人の多くが スペシャルオリンピック、体育、水泳などに参加しています。

障害者が施設や公共の場所に容易に行かれるように、各戸ごとの玄関から玄関までの交通機関が設けられています。バスのほとんどには、身体障害者のために 車椅子用のリフトが設置されています。家庭外で仕事をなさっている家族のためには、課外時間や就業時間中の委託所サービスも提供されています。

## 該当者になるための資格条件

オハイオ州知的障害および発達障害課が規定された基準により、知的障害および発達障害があると認定された子供および成人向けに、当機関が当書に書かれているサービスを提供しています。このようなサービスは、人種、肌の色、性別、宗教 また国籍に問わず、該当者なら誰でも受けられるサービスです。

## 知的障害および発達障害の規定

知的障害とは、さまざまな障害の中でも、最も頻繁に起こる障害です。身体障害者と精神障害者の数をたしても、それよりも 2 倍以上の子供が知的障害を持って生まれています。アメリカ国内では、知的障害と診断されている方が現在 70 億人いて、毎年 10 万人以上の方が知的障害者と診断されつつあると推測されています。

知的障害とは、全般的な知的機能がきわめて平均以下で、幼児発育期に知能障害が明らかになった状態の病名で、同じ社会文化の中の同年齢者に比べて 個人自立性と社会義務面に劣りがある状態を言います。

知的障害は、感情や精神に関する異常問題や病気ではありません。知的障害や他の発達障害の原因としては、さまざまなものがあります。たとえば、新陳代謝異常、クロムゾムン異変、妊婦がわずらった病気、タバコ、酒、麻薬の乱用、頭部へのケガ、脳の病気、出生前または出生時に起こった問題など さまざまな原因があります。しばしば複数の原因があげられるので、これというはっきりした原因を見つけるのは難しく、原因不明の場合が多いのです。 知的障害は、社会階級、経済階級を問わず、どの家族にも起こる可能性があるわけです。

知的障害は 単に発達障害の一例に過ぎません。発達障害とは、重度かつ慢性の障害で、下記の特徴を持っています。

- 精神病だけの理由で起こった精神的肉体的欠陥ではなく、知的または肉体的、もしくは知的および肉体的欠陥が原因で 起こった障害であること。
- 22歳未満の時点で 症状が明らかになったこと。
- 障害状態が将来長引いていくと 診断されていること。
- 障害のために、下記の症状を著している。
  - a) 3歳未満の子供では、発達障害が1点ある。
  - b) 3歳から6歳未満の子供では、発達障害が2点ある。
  - c) 6歳以上の子供では、年齢に応じた下記にあるような生活する上で重要なことの中で、3箇所以上において、重度な機能制約があること。
    - 1) 自分の身の回りの世話ができる
    - 2) 言語能力
    - 3) 学習能力
    - 4) 行動歩行能力
    - 5) 自己統制能力
    - 6) 自立生活能力
    - 7) 16歳以上では、経済的に自給自足可能である
- 特別に個人的に企画され調整された さまざまな分野にまたがる 組み合わせ式に順序立ったサービス、治療、世話などが 長期的に必要であること。

障害者がこの規定に該当するかを決定するには、病歴および背景情報が必要です。障害者の方は、集約受付窓口を通して、オハイオ州該当決定評価テストを受けていただくこともあります。発達障害は、知的障害、脳性麻痺、頭部外傷、てんかん、自閉症などから起こることがあります。

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会は、早期介入し、個人の必要に応じたプログラムを企画し、年齢を問わずすべての障害者のために さまざまな訓練サービスを提供して、知的障害又は他の発達障害者が 障害支障を少しでも減らして生活できるように、努力をしています。

## 照会

サービス照会につきましては、フランクリン郡知的障害および発達障害委員会の 集約受付窓口まで お問い合わせください。受付窓口の電話番号は〔614〕342-5490です。サービスによっては 登録の手続きが違うこともありますが、受付窓口がそのつどにお手伝いします。

## 登録簿

子供向けサービス	住所	電話番号
幼児センター	2879 Johnstown Rd.,43219	475-0564
マルバーン幼児センター	4141 Rudy Rd., 43214	451-6418
ノースイースト学校	500 N. Hamilton Rd.,43230	476-0530
ウエスト セントラル学校	1481 W. Town St., 43222	276-8231

## 大人向けサービス

ARC 工業 セントラルオフィス	2300 Marilyn Park Ln., 43219	475-7007
ARC 工業 東所	909 Taylor Station Rd., 43004	864-2406
ARC 工業 北所	6633 Doubletree Ave., 43229	436-4800
ARC 工業 南所	4395 Marketing Place, 43125	836-9675
ARC 工業 西所	250 West Dodridge, 43202	267-1207
ビクスビー 生活技術センター	4200 Bixby Rd., 43125	836-6050
ヘイグ 生活技術センター	900 N. Hague Ave., 43204	274-5194

## その他のサービス

集約受付窓口	350 East Broad St., 43215	464-2743
サービス調整 (24時間)	350 East Broad St., 43215	464-2743
スペシャルオリンピック・レクリエーション	2879 Johnstown Rd., 43219	475-6440
交通機関 東建物	2879 Johnstown Rd., 43219	475-5910
交通機関 南建物	2201 Advance Ave., 43207	445-9162
交通機関 西建物	250 W. Dodridge, 43205	263-5167
管理局	2879 Johnstown Rd., 43219	475-6440
その他の課	2879 Johnstown Rd., 43219	475-6440

## 外部と契約して行っているサービス

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会が 直接運営しているサービスの他に、当委員会は 100 件以上の地方公共団体との共同契約を通して、子供、成人および家族の方々に 援助やサービスを提供しています。

## 非差別誓言

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会は、人種、肌の色、信条、性別、国籍、年齢、又は身体障害の有無にかかわらず、非差別で 従業員を雇用し 該当者にサービスを行います。

フランクリン郡知的障害および発達障害委員会

オハイオ州コロンバス市ジョンスタウン道 2879 番地  
〔614〕475-6440

ウェブサイト [www.fcbrdd.org](http://www.fcbrdd.org)

Franklin County Board  
of Mental Retardation and  
Developmental Disabilities

2879 Johnstown Rd.  
Columbus, Ohio 43219  
(614) 475-6440  
[www.fcbrdd.org](http://www.fcbrdd.org)



**Funded in part by The Ohio Developmental Disabilities Council  
Under the Developmental Disabilities Assistance and Bill of Rights Act.**



***Asian American Community Services***  
4100 N. High Street, Suite 301,  
Columbus, OH 43214  
Phone: (614) 220-4023  
Fax: (614) 220-4024